

# 秋間小だより

安中市立秋間小学校

NO11 令和4年10月3日

発行責任者：木口 敦子

【学校教育目標】 育てよう！未来に続く「生きる力」～家庭・地域と共に～

## 自学力コンテスト入賞者発表！

夏休みに「自学力コンテスト」への挑戦を呼びかけました。

9月中に提出のあったすべての取組に目を通し、コメントを入れました。数えてみると50名ほどの提出があり、全校児童の約半数が挑戦したことが分かりました。学ぶ内容も方法も量も皆それぞれですが、「学び方」の模索は、将来の課題解決の力につながり、まさにそれこそが未来を生きる人間に必要な「生きる力」と考えられています。

みごと校長賞に輝いた [ ] の「自学ノート」は、粘り強く誠実な学びの記録でした。特に素晴らしい点が、三つあります。一つ目は、「めあて」と「振り返り」が次の学びにつながるよう的確に書かれていること、二つ目は、後で見返したとき、自分にとって分かりやすいように丁寧に記録されていること、そして三つ目は、自分に今どんな学習が必要なのか、よく見極めて学習を計画していることです。人は、できないことをできるようにするため、知る必要があるのにまだ知らないでいることを知識に変えるために学ぶのだと思います。ですから、「学ぶ」という行為には辛さもあります。でも、学びを続けていくと、できなかったことができるようになり、知らなかったことを人に説明できるようにもなり、なりたい自分に近づいて楽しくなってくるものだと思います。[ ] のノートからは、そのように成長していく [ ] の未来が見えるようでした。

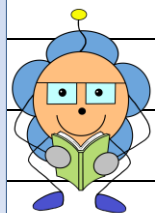
目標をもって文字や算数の復習に根気強く取り組んだ子、自分の興味に合わせて個性的な学びに挑戦した子、読書を楽しんだ子、緊張しながらも自分の音読を動画撮影して提出した子など、挑戦した全員の取組に拍手を送りたいです。

秋間小学校では、これからも子供たちの「自学力」の向上を支援し、未来に必要とされる確かな学力をもつ児童の育成に努めてまいります。

## 入賞者

※敬称略

校長賞	[ ]	
漢字・ひらがな部門賞		
算数部門賞		
自由学習部門賞		
読書部門賞		
音読部門賞		
特別賞		



# キャリア朝礼

HPの「秋小日記」でもお知らせしましたが、9月26日（月）の朝行事で、秋間小学校では初めてのキャリア朝礼を行いました。

子供たちに未来の目標をもたせるためには、多様なモデルが必要です。今回のキャリア朝礼では、本校児童の保護者でもある、大澤卓朗様（安中土建株式会社代表取締役）を講師に迎え、建設業という仕事や経営者の役割について、たいへん分かりやすいお話をいただきました。

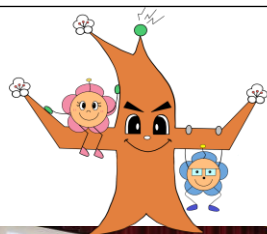
建設業は、新しい道路を造る仕事・災害に備える仕事・道路や川のメンテナンスという3つの仕事内容があり、人々の暮らしを便利にして安全・安心を守る職業であると、工事現場の写真などを提示しながらお話してくださいました。また、経営者の立場は責任が重くたいへんだけれど、「こんな会社でありたい」という思いを示し、社員たちと協働して目標が実現したときは本当に嬉しいとおっしゃっていました。

「小学校で勉強する『体積』を今の仕事の中でも使っています。建設業には算数の勉強がとても役に立っています。」「夢は経験を積む中で変わっていくものです。夢は変えてもよいのです。」という大澤様の言葉に、驚きの表情を見せた子供もいました。

子供たちの感想から2つを紹介いたします。

自分の夢などで今思っている夢が思い通りになるわけではないけど、大澤さんも言っていたように何かを得て夢が変わったりすることなどが大きく感じました。大人になっていく上で自分でどんなおとなになりたいかなどもっと考えたいです。

私は将来の夢がはつきりと決まっています。が、今回のキャリア朝礼で将来の夢はそんなに急いで決める必要はなくて、ゆっくり人生の中で決めても良いことが分かりました。また、仕事をする際には、自分の生活だけのためではなく他の人の生活を考える仕事を頑張っていることを知り、私も誰かに役立てる仕事をしたいと思いました。



社長になりたい  
と思ったことは  
ありますか？



児童からの主体的な質問もありました。話を熱心に聞き、考え、多くの日本人が苦手とする質問力もついてきました。

お知らせ